

横浜製油所での潤滑油・グリース製造設備建設について  
～神奈川県「施設整備等助成制度」に申請～

各位

当社(社長:渡 文明)の石油精製部門である新日本石油精製株式会社(社長:小沢 稔、東京都港区)は、横浜製油所(所長:古田峰夫、横浜市神奈川区)に建設を予定している潤滑油・グリース製造設備につきまして、2004年11月に制度化された神奈川県の「施設整備等助成制度」に申請いたしましたのでお知らせいたします。

新設される製造設備は、新日本石油グループの潤滑油製造体制の再構築のため、新日本石油加工株式会社東京工場(工場長:渋谷敬一、江東区)で行なっている潤滑油・グリース製造を中止し、新日本石油精製(株)横浜製油所に集約するものです。

今回の潤滑油製造拠点の集約化により、横浜製油所の潤滑油生産量は、現在の約1.4倍に拡大することになり、また、生産効率および製造品質の観点から格段に高度化された製油所となります。

---

潤滑油・グリース製造設備の概要

1. 所在地 横浜市神奈川区守屋町4丁目18番地
2. 設備概要 鉄骨造 地上3階建て(7,390m<sup>2</sup>)
3. 投資額 88億円(助成金対象投資額:72億円)
4. 完成予定 2007年4月
5. 新設設備で製造される潤滑油・グリースの特徴
  - (1)潤滑油 環境配慮性能(省エネ、長寿命等)を兼ね備えた高性能潤滑油製品を製造します。
  - (2)グリース 一般のグリース製品の製造に加え、特に高温での使用に耐え、且つ長寿命である「高性能グリース」を製造します。なお、当該グリースの最終仕上げ工程は、その厳しい品質規格を満たすため、工場内に設置したクリーンルームで実施します。

以上